

令和元年度第1回契約監視委員会が、令和元年6月5日(水)、労働者健康安全機構会議室において開催されましたので、その議事概要についてお知らせいたします。

令和元年度 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 第1回契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和元年6月5日(水) 10:12~11:25 開催場所：独立行政法人 労働者健康安全機構会議室	
委員	委員 竹内啓博(公認会計士) 委員 田極春美(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 委員 山本 勲(慶應義塾大学商学部教授) 委員 東ヶ崎将(JILPT監事)(議事進行) 委員 小林伸行(JILPT監事(非常勤))	
審議対象期間	1. 調達等合理化計画の評価・点検 2. 平成30年12月22日~平成31年3月31日に契約締結された案件 3. 平成31年4月1日~令和元年6月5日に契約締結(予定)の案件	
1. 一般競争入札	31 件	
2. 競争性のない随意契約	13 件	
3. 一者応札・一者応募	9 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	<input type="checkbox"/> 下記のとおり	<input type="checkbox"/> 下記のとおり
	意見・質問	回答
機構側から、審議案件について契約概要を説明し、全体をご審議いただいた。		
1. 調達等合理化計画		
【平成30年度調達等合理化計画の自己評価に対する留意点及び自己評価、令和元年度調達等合理化計画の策定に関する留意点及び計画の点検】		・特段の意見は無し。
2. 一般競争入札案件 (平成30年12月22日~令和元年6月5日契約締結)		
【案件1】		
<「一般競争契約締結状況」資料について>		
・同資料は調達内容が分かりやすい一覧になっているが、仕様書、契約書、予定価格積算資料がないと委員は検討(審議)できない。1者応札案件だけでもよいので、点検をするため必要なので、仕様書等を提出すること。		・次回委員会からは仕様書等を提出する。

意見・質問	回答
3. 随意契約案件 (平成30年12月22日～令和元年6月5日契約締結)	・特段の意見は無し。
4. 一者応札・一者応募案件 (平成30年12月22日～令和元年6月5日契約締結)	
【案件1】	
<資料No.1「2019～21年度機構情報システム運用支援・ヘルプデスク等業務の委託」>	
<p>・入札参加辞退の理由を見ると「人員を確保できない」ことを理由としている業者が複数件ある。3年間委託で総額6千万円程度の大きな契約案件で、仕様がオーバースペックになっているのではないかと。遠隔地からヘルプ作業ができる仕様などを検討し、今回の仕様が実情とマッチしているかについて、比較検討が必要だ。</p> <p>また、現在のヘルプデスクの常駐体制の必要性や、利用状況の検証も必要である。</p>	・ご指摘事項は承知した。
【案件2】	
<資料No.3「平成31年度月刊誌『Business Labor Trend』のレイアウト・デザイン及び印刷・製本等の委託業務」>	
<p>・入札要件に「専属要員の配置」とある部分が業者から辞退される理由ではないか。この委託金額で、専属要員の設置が必要となれば、3倍の経費が求められるのではないかと。契約監視委員会からの意見として、仕様書の要件である「専属要員の設置」の必要性を再検証すること。</p>	・ご指摘事項は承知した。同用務は、職員が取材等のため外出となり、不在が多いことから、委託先には常時連絡が取れる専属要員の設置を求めている。
5. 契約事前点検(令和元年6月～令和2年3月予定)	
【案件1】	
<アンケート調査『職業と生活に関する調査』の実施に係るデータ作成等業務委託の件>	
<p>・入札説明書にある入札参加資格(15)「全国を対象として、層化二段無作為抽出法により抽出した1万2千人の調査を実施できる体制を有していること。(日本全国にわたり偏り無く自社の調査員により調査を実施し、トラブルへ対処することが可能であること。)」がハードルが高すぎると思う。11月に1万2千人を対象に実査を開始することは、難しくハードルが高すぎ心配である。</p>	・ご指摘事項は承知した。慎重に対応したい。